



西が岡

西が岡小学校学校だより 2026th

令和8年5月31日

6月号

横浜市立西が岡小学校

自分大好き みんな大好き ひとみかがやく西が岡の子

〒245-0006 横浜市泉区西が岡3丁目12-11

TEL045-814-3603

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishigaoka/>

西が岡小

検索

「友達という存在」

副校長 中山 純子

5月の生活目標は「友達をたくさんつくろう」でした。

4月に新しい学年が始まり、最初は緊張していた子どもたちも、少しずつ学校生活に慣れ、笑顔で友達とかかわる姿があちこちで見られるようになってきました。

「友達」と一口に言っても、その意味や大切さは学年によってずいぶん違うかもしれません。1年生にとっての友達は、「一緒に遊んでくれる人」「そばにいて安心できる人」。一方、6年生になると、「自分の思いを分かち合える人」「困ったときに支え合える存在」として、友達の意味はより深く、広がっていきます。

先日、5年生の道徳の授業「ロレンゾの友達」を参観しました。物語を通して、「友達が困っているとき、自分だったらどうするか」について、一人ひとりが真剣に考えている姿が印象的でした。「自分だったら言われたくないと思うから、何も言わない」

「間違っていることは伝えたい」「見て見ぬふりはしたくない」など、子どもたちの言葉からは、友達の意味を考え、大切に思う気持ちが強く伝わってきました。

友達は、いつも楽しい存在であるだけではありません。

時には意見がぶつかったり、悩んだりすることもあります。しかし、そんな経験を通してこそ、人は成長し、思いやりや強さを身に付けていくのだと思います。自分を理解し、支えてくれる友達の存在は、子どもたちの心の大きな支えになります。

6月は、じめじめとした雨の季節を迎えますが、心は晴れやかに、互いを思いやり、認め合える学校生活を大切にしていきたいものです。子どもたち一人ひとりが、安心して自分らしく過ごせるよう、教職員一同、引き続き見守り、支えてまいります。

今月もどうぞよろしく願いいたします。